

# 新素材で6商品案

#ともに笑顔に

全国の信金でつくる「よい仕事おこしネットワーク」×東京新聞

## 大田区の企業 × 千葉商科大生

ナノファイバーを使った新商品のアイデアを発表する千葉商科大の学生ら。2日、東京都大田区の羽田インベシジョンセンターで



極細繊維の新素材「ナノファイバー」を使った新商品を学生の自由な発想で考えてもらう産学協同プロジェクトの商品案発表会が、東京都内であった。今回は参加校のうち千葉商科大(千葉県市川市)の学生たちが、介護用敷きパッド、生理用ショーツ、災害用寝袋など6つを提案した。

このプロジェクトは、ナノファイバーの量産装置を開発した関西電子(東京都大田区)が大学、高専の計3校と取り組んでいる。こ

の日は人間社会学部1~3年の19人が参加した。

身近な問題の解決や持続可能な開発目標(SDGs)にも関わる提案に、同社の進士国広社長は「一つ一つに工夫が見られ、心を打つアイデアだった」と評価した。同大指導教員の吉田正人教授は「学生が自分で調べ、考える学びにつながった」と話していた。

ナノファイバーは断熱・保温性や、油を吸ったり水をはじいたりする特長がある。同社は今夏、城南信用金庫(品川区)の橋渡しで、産学連携を始めた。学生の案が採用されれば、商社などに商品化を打診する。